

平成30年死亡災害発生状況

静岡労働局 健康安全課

No	管轄	発生月 発生時間	業種 規模	事故の型 起因物	発生状況
1	静岡	1月 12時～13時	林業 10人未満	墜落、転落 地山・岩石	災害発生当日、被災者を含む3名は森林の面積測量を行っていた。昼食休憩時に被災者が「日なたに行きたい」と言い、作業員2名と別れた約15分後、作業を開始しようと被災者に呼びかけたところ返事が無く、付近を探したところ、約50m下に滑落した被災者を発見したもの。被災者はヘリコプターで搬送された病院先で死亡が確認された。
2	浜松	2月 15時～16時	小売業 10人未満	交通事故(道路) 乗用車・バス・バイク	灯油の配達業務を行っていた被災者は業務用の軽トラックを運転し、信号機のある交差点を東側から直進したところ、交差点を南側から直進してきた乗用車と衝突し死亡したもの。乗用車の信号無視とみられている。
3	富士	2月 6時～7時	小売業 30～49人	交通事故(道路) 乗用車・バス・バイク	被災労働者が新聞(朝刊)配達のため、50ccの原動機付自転車に乗り、県道を走行していたところ、カーブで対向車の軽乗用車と正面衝突して転倒し死亡したもの。災害が発生した道路は中央線のない対面通行の道路である。
4	磐田	2月 1時～2時	道路貨物運送業 100～299人	墜落、転落 トラック	自社駐車場で倒れている被災者を出勤してきた労働者が発見したもの。被災者は配送業務を終え事務所で帰庫の報告を済ませた後、自社駐車場でトラックの清掃作業を行っていたときに、トラックのキャビンの屋根上から地面に墜落し死亡したものと推定される。
5	浜松	2月 11時～12時	小売業 10～29人	はさまれ、巻き込まれ エレベータ・リフト	弁当用のパック、箸等が保管されている2階建ての物置場において、被災者は2階に置かれた弁当用のパックを取りに行くため、積載荷重100kgのリフトの搬器に乗り、1階から2階へ上昇する途中で、搬器の枠と2階床面開口部の縁との間に胸部をはさまれて死亡したもの。
6	三島	2月 0時～1時	道路貨物運送業 10～29人	交通事故(道路) トラック	運転していた貨物自動車に異常を感じたため停車したところ、左前2輪目のタイヤ付近から出火していたため、消火しようと毛布で出火箇所を覆っていたところ、タイヤが破裂し被災者に当たり死亡したもの。
7	三島	3月 14時～15時	土木工事業 10人未満	墜落、転落 屋根・はり・もや・けた・合掌	自社倉庫のポリカーボネート樹脂(PC)製の波板屋根の修理作業を行っていた被災者が、高さ5.57mの屋根の波板を踏抜いて墜落し死亡したもの。被災者は保護帽、安全帯を着用しておらず、また、屋根に防網等も設けられていなかった。
8	沼津	3月 16時～17時	清掃・と蓄業 30～49人	おぼれ 水	場内にある訓練所の清掃、施設の修繕作業を行っていた被災者らは、作業が終了したため、作業車両に乗って訓練所を出たが、集合場所へ戻ってこなかったため、同僚らが捜索していたところ、場内の調節池で被災者2名を発見したもの。悪天候により法面で発生した濁流に流されて溺死したものと推定。

No	管轄	発生月 発生時間	業種 規模	事故の型 起因物	発生状況
9	沼津	3月 16時～17時	清掃・と蓄業 30～49人	おぼれ 水	場内にある訓練所の清掃、施設の修繕作業を行っていた被災者らは、作業が終了したため、作業車両に乗って訓練所を出たが、集合場所へ戻ってこなかったため、同僚らが捜索していたところ、場内の調節池で被災者2名を発見した。悪天候により法面で発生した濁流に流されて溺死したものと推定。
10	磐田	4月 8時～9時	建築工事業 10～29人	墜落、転落 屋根・はり・もや・けた・合掌	倉庫解体工事におけるスレート屋根撤去作業中に、屋根上で作業していた被災者が木毛板を踏抜き約8m下の地面に墜落し死亡した。なお、屋根に安全帯の取付け設備、防網、歩み板等は設置されていなかった。
11	富士	4月 14時～15時	パルプ・紙・紙加工 品製造業 10～29人	崩壊、倒壊 荷姿のもの	古紙の保管場所において、2列4段に積上げられた8個の古紙の塊について、列間に隙間があり倒壊の危険があるため、塊を掴むアタッチメントを装備したフォークリフトを用いて、下から2段目以上の合計6個の塊を列の隙間がなくなるように整えたところ、整えたはずの西側1列の上部3個の塊が崩れ落ち、付近で清掃作業中の被災者に激突し死亡した。
12	富士	6月 13時～14時	その他の建設業 10～29人	おぼれ 建築物・構築物	被災者は、刈払機を使用し、水力発電所へ水を供給する設備（導水路）の護岸に生えた草を刈る作業に従事していた。傾斜42度の護岸上部の縁にある幅70cmの平らな箇所と幅10cmの傾斜の緩い箇所を足場として被災者が草刈作業をしていた際、被災者は足を滑らせ導水路に転落した。転落時、被災者は自ら遊泳したと思われるが、約100メートル下流で救出された際には意識がなく、病院に搬送されたが死亡した。
13	浜松	6月 9時～10時	化学工業 10～29人	爆発 爆発性の物等	花火工場で爆発が発生し、その火災によりコンクリート製平屋建ての隣接する建屋3棟が全焼した。爆発による爆風、火災により焼死した被災者が発見された。
14	浜松	6月 9時～10時	化学工業 10～29人	爆発 爆発性の物等	花火工場で爆発が発生し、その火災によりコンクリート製平屋建ての隣接する建屋3棟が全焼し、被災者が屋外で発見された。被災者は2日後に全身熱傷により死亡した。
15	島田	7月 14時～15時	建築工事業 10～29人	高温、低温の物との接触 高温・低温環境	木造住宅の解体現場で、被災者は木くず等をトラック荷台に積み込む作業を行っていた。14時30分ごろ休憩していたところ気分が悪くなり、そのまま木陰で休憩していたが、体調が回復しないため仕事を切り上げ、15時ごろ同僚が運転するトラックに乗って帰社する途中で嘔吐、痙攣したため、救急車で病院へ搬送したが、2日後、搬送先の病院で熱中症により死亡した。
16	浜松	7月 15時～16時	建築工事業 10人未満	墜落、転落 建築物・構築物	1階のエレベーターピットの近くで作業をしていた作業員が、人が落ちたような音を聞き確認したところ、被災者が倒れているのを発見した。被災者は高さ約14mの5階エレベーター開口部の養生幕の幅木が破損していたため、当該箇所からエレベーターピットに墜落したものと推定。

No	管轄	発生月 発生時間	業種 規模	事故の型 起因物	発生状況
17	静岡	7月 13時～14時	その他の事業 100～299人	高温、低温の物との接触 高温・低温環境	富士山頂において安全誘導業務に従事していた被災者は、台風接近のため下山中の六合目付近で強風により動けなくなり救助を要請した。救助隊合流時には、意識が朦朧とし、救急車で搬送中に心肺停止し、翌日搬送先の病院で低体温症により死亡したものの。
18	静岡	7月 16時～17時	陸上貨物取扱業 10人未満	高温、低温の物との接触 高温・低温環境	構内下請事業場所の被災者は竹ぼうきを使って倉庫内の清掃を行っている際にふらつきが認められたため、スポットクーラーの近くに寝かせるとともに、保冷剤で身体を冷やしたり、経口補水液を飲ませるなどの処置を行った。被災者が会話や自力歩行も可能だったことから、病院には行かず、その日の夕刻に帰宅したが、翌朝、自宅で倒れている被災者を発見し、その後、熱中症による死亡が確認された。
19	島田	5月 16時～17時	食料品製造業 10人未満	はさまれ、巻き込まれ その他の一般動力機械	被災者は一人で、工場内にある生葉自動コンテナの生葉の搬出箇所下部に設置されたブラシを修理するため、機械を止めずにコンテナ内に入り、コンテナの搬出箇所に近づいた際に、搬出箇所に設けられたかき落とし装置の鉄製の可動式バーに巻き込まれ死亡したものの。
20	沼津	6月 16時～17時	建築工事業 10～29人	交通事故(道路) トラック	翌日から開始予定の商業施設新築工事における地盤改良工事において、前泊予定地である宿泊施設に向かうため、同僚運転の4tトラックと被災者運転の3tトラックで名神高速道路上り線を走行中、渋滞で減速した同僚の4tトラックに追突し、さらに前方の乗用車2台が絡む車両4台の玉突き事故となった。被災者は死亡し、同僚は5日間の休業災害となったもの。
21	沼津	9月 15時～16時	建築工事業 10～29人	はさまれ、巻き込まれ 高所作業車	工場増築工事において被災者は高所作業車のバケットに乗り鉄骨梁のボルトの本締め作業を行っていたところ、バケットと鉄骨梁との間に頸部をはさまれ、病院へ搬送されたものの翌日死亡したものの。
22	浜松	9月 4時～5時	木材・木製品製造業 10～29人	交通事故(道路) トラック	外注先の25tトラックの運転者が工場生産された木質チップの積込みを終え、工場の前のT字路(公道)で方向転換のため後退したところ、工場の夜間の巡回警備に従事する被災者が、トラックの左後輪に轢かれ2日後に死亡したものの。
23	三島	9月 10時～11時	土木工事業 10人未満	激突され 立木等	胸高直径約35cmの杉の伐倒作業中、被災者はチェーンソーで受け口の下切り、受け口の斜め切りを行い、追い口切りをして立木が倒れ始めたため、約2.3m離れた退避場所に退避したが、伐倒方向が予定していた位置よりずれて、倒れた立木の先端が林道のコンクリート擁壁の上部に当たり、擁壁上を約2.2m滑走した反動で、倒れた立木の根元も滑走し、被災者は胸部と顔面を激突され死亡したものの。
24	島田	9月 7時～8時	清掃・と蓄業 10～29人	崩壊、倒壊 荷姿のもの	古紙を圧縮したブロック(1m角、重さ540kg)の集積場所で、3段に積み上げたブロックが倒れ、近くで掃除作業を行っていた被災者が下敷きとなり死亡したものの。当該ブロックの3段目は直前にフォークリフトで積まれたものであった。

No	管轄	発生月 発生時間	業種 規模	事故の型 起因物	発生状況
25	富士	10月 9時～10時	林業 10人未満	崩壊、倒壊 立木等	被災者は杉人工林内において、胸高直径約35cmの杉の伐倒作業を行っていたところ、かかり木となってしまう、かかり木を処理するためかかり木の根本から玉切り(元玉切り)を繰り返し、4回目の玉切りの際に、チェーンソーの刃がはさまり動かなくなったため、補助作業者がかかり木を下から持ち上げ、はさまれた刃を抜いたところ、かかり木が被災者の方向に倒れて直撃し死亡したものの。
26	浜松	11月 16時～17時	土木工事業 100～299人	激突され トラック	被災者はトンネル坑口より約2kmの地点で、切羽の吹付作業終了後にコンクリートポンプ車のホッパーの掃除をしていた。約5m離れていた場所に停車していた無人のミキサー車が後進したため、被災者は激突されて死亡したものの。ミキサー車を停車していた場所は7%の傾斜地であった。
27	静岡	10月 15時～16時	金属製品製造業 100～299人	有害物等との接触 異常環境等	洗浄槽内に洗浄した部品が落ちていないか確認に行った派遣労働者である被災者が戻ってこないため、同僚が探したところ洗浄槽内で倒れている被災者を発見したものの。被災者は心肺停止状態で救急搬送され、搬送先の病院で蘇生したものの低酸素脳症と診断を受け、入院加療していたが10日後に死亡したものの。被災者発見時、洗浄槽底部は洗浄液であるジクロロメタンの残液で濡れている状態で、再現したところ酸素濃度は約13%であった。
28	浜松	10月 12時～13時	卸売業 10～29人	墜落、転落 トラック	取引先の事業場に鉄製の網パレットを引き取りに行った被災者が、取引先事業場の敷地内に停めたトラックの近くで倒れていたところを発見され、収容先の病院で半月後に死亡したものの。目撃者はいないが、取引先事業場の敷地内で3tトラックの荷台に網パレットを積み込み、ロープを使った荷締め作業中に、足を滑らせ荷台から転落し頭部を強打したものと推定される。
29	三島	11月 10時～11時	土木工事業 10～29人	激突され 立木等	被災者は胸高直径30cm、高さ16mの立木を伐倒するため、チェーンソーを用いて受け口と追い口を入れた後、2.7m離れた西側にある立木の裏側に退避した。立木は予定した方向である北東側へ倒れ始めたが、立木の上部に絡まっていた「つる」により倒れきらず、同僚労働者が木材グラップル機のグラップル装置の側面で軽く押したところ、立木が根元側から西側へ向かって滑走したため退避していた被災者は激突され死亡したものの。
30	沼津	11月 14時～15時	土木工事業 10～29人	飛来、落下 玉掛用具	つり上げ荷重70tのクローラークレーンで、クランプ2個を用いてつり上げていたH型鋼杭(長さ25m、重さ4.66t)を斜面に仮置きするため、H型鋼杭の片側端部を斜面に着地させ、さらに巻き下げにて荷を下ろそうとしていたところ、クランプからH型鋼杭が外れて落下し、合図者である被災者がH型鋼杭と切株との間にはさまれ死亡したものの。なお、クランプ1個の許容荷重は1tであった。
31	沼津	1月 5時～6時	小売業 50～99人	その他 起因物なし	事務所内の床に倒れている被災者を、朝、入社した労働者が発見した。長時間労働が原因となり精神障害を発症し自殺に至ったものと認定したものの。

No	管轄	発生月 発生時間	業種 規模	事故の型 起因物	発生状況
32	浜松	12月 10時～11時	畜産 10～29人	はさまれ、巻き込まれ 動力伝導機構	エアガンを用いて鶏舎内で羽毛を除去する清掃作業を行っていた被災者が、集卵エレベーター（以下コンベヤー）とコンベヤーとの間に取り付けられた動力伝達シャフト部分に、衣服、髪などが巻き込まれ意識不明の状態で発見された。その後、被災者は収容先の病院で死亡したものの。
33	静岡	10月 10時～11時	輸送用機械等製造業 10～29人	火災 引火性の物	構内下請事業場の労働者である被災者は、元請事業場内の船体ブロック組立定盤において、ブロックの部材に対しアーク溶接作業を行っていた。災害発生時、被災者の近くに置いていた錆止め塗料缶（有機溶剤含有）が倒れて作業床上にこぼれたため、溶接の火花が引火し、被災者の作業着に燃え移ったもの。被災者は、搬送先の病院で入院加療していたが、約1か月半後死亡したものの。